

北斗市 ゼロカーボンシティ宣言

近年、気候変動を背景とする異常気象が世界各地で発生し、我が国においても平均気温の上昇、大雨、台風等による被害、農作物や生態系への影響等が観測されており、今後、豪雨や猛暑のリスクが常に高まることが予測されています。

このような気候変動の要因としてあげられている地球温暖化への対応が世界共通の喫緊の課題となる中、国は令和2年10月、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指し、各種施策を実施することを表明しました。

本市においては、これまで、公共施設の省エネルギー対策や新エネルギーの促進、また、本市のかけがえのない財産である森林や海洋環境の保全を推進し、温室効果ガスの抑制並びに吸収機能の持続に努めてまいりました。

地球温暖化対策については、今後も地域レベルで、なお一層、貢献していく必要があります。

市民・事業者・行政が一体となり、「オール北斗」でさらなる温室効果ガス削減などの取組みを進め、2050年までに排出量実質ゼロを目指します。

「カーボンニュートラル」は、本市のまちづくりの理念とするSDGsにかなうものです。いま私たちは、将来の『ゼロカーボンシティ』をめざし、これからも、その努力を積み重ねることを宣言します。

令和5年3月15日

北斗市長 池田遠雄